

# 『応急仮設住宅入居高齢者の活動促進に関する調査研究』

## 【一坪農園】設置に係る報告書の掲載について

いきいき岩手支援財団では、被災地の応急仮設住宅の入居高齢者が活動する場が不足しており、生活機能の低下を防止することが課題とされていることから、平成24年、25年度に木製の一坪農園を設置し、高齢者の活動促進やコミュニティづくり等への効果について調査研究を行いました。

調査研究の成果として、一坪農園において、高齢の入居者が共同で野菜や花づくりの農作業を行うことにより、高齢者の活動促進等に一定の効果がみられました。

また、被災地の仮設住宅の敷地内で一坪農園を設置し、野菜や花の栽培ができることがわかりました。この設置方法について、被災地の住民だけでなく、広く県民に周知するため、『一坪農園開園マニュアル』を作成しました。これらについて、掲載しましたので、ご紹介させていただきます。

限られた敷地内で家庭菜園づくりに関心をお持ちの方や介護福祉施設等に設置を希望されている方々などに、ご活用していただくことができれば幸いです。

平成26年4月

公益財団法人 いきいき岩手支援財団  
岩手県高齢者総合支援センター